

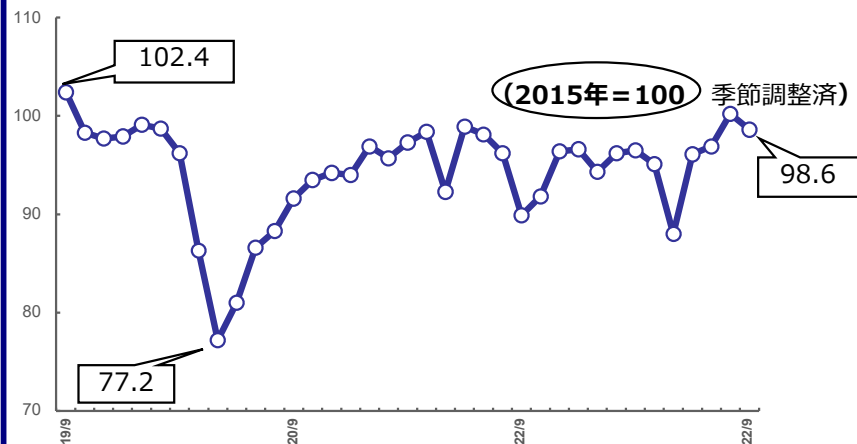
# 静岡県産業成長戦略2022 の主な取組





# 本県の経済情勢

## R4.9月鉱工業生産指数（全国）（速報）



前月比1.6%の減少で、**98.6**  
 経済産業省の基調判断は「生産は緩やかな持ち直しの動き」と、前月と同評価

- ・上昇した業種（4業種） ※いずれも前月比  
 化学工業(6.8%)、電気・情報通信機械工業(2.3%)、  
 鉄鋼・非鉄金属工業(1.1%)、電子部品・デバイス工業(0.4%)
- ・低下した業種（11業種）  
 自動車工業(▲12.4%)、無機・有機化学工業(▲6.3%)、  
 生産用機械工業(▲1.8%)、汎用・業務用機械工業(▲2.0%)、  
 プラスチック製品工業(▲2.0%)、石油・石炭製品工業(▲7.6%)、  
 輸送機械工業(▲1.4%)、金属製品工業(▲0.1%)、  
 窯業・土石製品工業(▲0.7%) 等

## 静岡県金融経済の動向（R4.10月）

項目	前月からの変化	今月の評価
全体判断	➡	持ち直しの兆しがみられている
需要項目別の動向	個人消費	➡ 天候不順の影響を受けつつも、持ち直している
	公共投資	➡ 高水準で推移している
	設備投資	➡ 持ち直している
	住宅投資	➡ 横ばい圏内の動きとなっている
	輸出	➡ 高水準で推移している
生産、雇用・所得、物価の動向	生産	➡ 供給制約の影響を残しつつも、幾分持ち直している
	雇用・所得	➡ 労働雇用：改善傾向にある 雇用者所得：緩やかに改善しつつある
	物価	— 前年を上回っている

○景気判断  
 「新型コロナウイルス感染症や供給制約の影響を受けつつも、基調としては持ち直している。」  
 （8ヶ月連続同評価）

・個人消費や公共投資生産などすべて同評価

○日銀静岡支店長コメント（R4.10.25）  
 「円安は輸出企業にはプラスだが、効果は少なく、輸入価格が上昇するなど、マイナス面は全体的に大きい。」  
 「台風15号については、今のところ致命的な影響を与えるような問題はないが、復旧に時間がかかる可能性もあり、注意深く見ていく必要がある。」

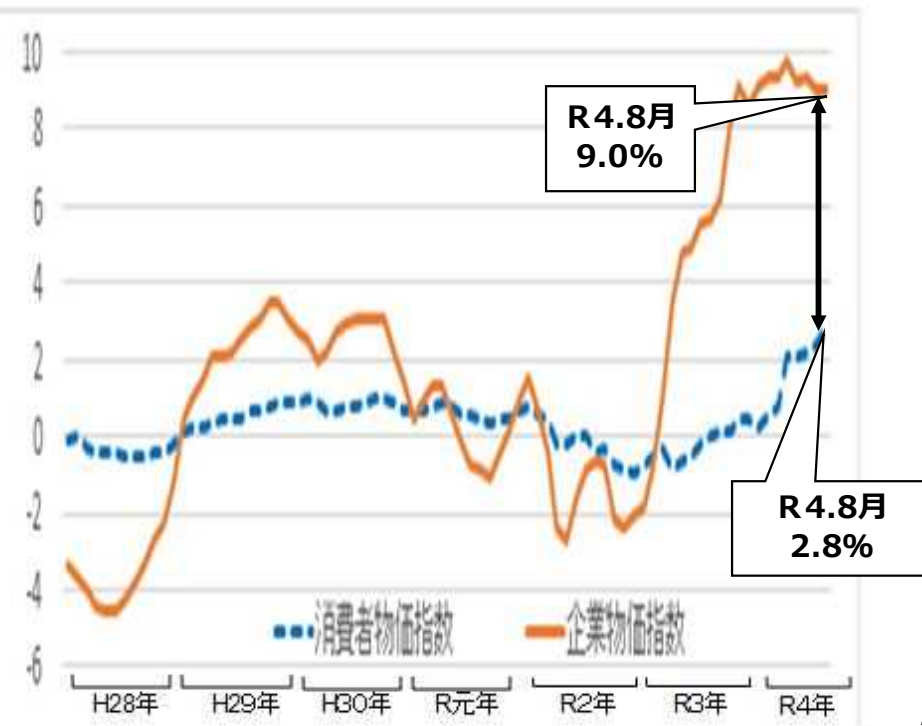
# コロナ禍における物価高騰への対応（足下の状況）

- R4.7月以降感染が急激に再拡大。社会経済活動との両立が改めて求められる。
- 経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化等により、食料や原材料、エネルギー価格など、物価高騰による県民生活、社会経済活動への影響が長期化
- 企業物価指数と消費者物価指数の乖離は過去最大の水準（価格転嫁の遅れ）

## 県内新型コロナウイルス感染状況の推移



## 企業物価指数・消費者物価指数の推移



# コロナ禍における物価高騰への対応（令和4年度補正予算での主な対応）

## 商工業者への支援・需要促進

- ✓ デジタル化・業態転換等の支援** R4.6月補正：3億円
  - ・ 中小企業デジタル化・業態転換等補助金への「原油価格・物価高騰対応枠」の創設（補助率2/3、上限300万円）
- ✓ 物価高騰対策の取組への支援** R4.9月補正：10億円
  - ・ 中小企業者等物価高騰緊急対策事業費補助金の創設（補助率2/3、上限50万円）
- ✓ 県制度融資「経済変動対策貸付（原油・原材料高対応枠）」の創設** R4.6月補正：1億5,867万円（融資枠：50億円）
  - ・ 条件：融資限度額 5,000万円、融資期間 10年以内、融資利率 1.40%（利子補給率0.67%）、保証料率：0.28%～1.20%
- ✓ ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度を活用した消費喚起** R4.6月補正：27億円
  - ・ プレミアム付電子食事券の発行（発行総額100億円（プレミアム率25%）、実施店舗8,000店（見込））

## 農業者・漁業者への支援

- ✓ 燃油・飼料の購入費用の増加分の補填** R4.6月補正：43億6,300万円

区分	施設園芸燃油価格高騰 緊急対策事業費助成	荒茶工場燃油価格高騰 緊急対策事業費助成	飼料価格高騰 緊急対策事業費助成	漁業用燃油価格等高騰 緊急対策事業費助成
対象者	施設園芸農家	茶工場	畜産農家等	漁業者、養殖業者
対象経費	基準価格を超えた燃油代	基準価格を超えた燃油代	基準価格を超えた飼料代ほか	基準価格を超えた燃油代、飼料代
補助率	1/2以内	1/2以内	1/2以内	1/2以内
対象期間	R4.4.1～R4.6.30	R4.4.1～R4.10.31	R4.4.1～R4.9.30	R4.4.1～R4.9.30

- ✓ 「バイ・シズオカ」の推進** R4.9月補正：6,000万円
  - ・ 農林水産物の直売所の店舗やECサイトにおける送料無料キャンペーン、漁協直営食堂等の利用者へのプレゼントキャンペーンの実施

# フジノミクスの展開

## ○新たな広域経済圏「山の洲」の形成

### ✓ 4県連携による強みを活かした個人消費の喚起

- ・「バイ・山の洲」物産展（静岡伊勢丹 R4.7 来場約8,000人）
- ・「バイ・ふじのくに」静岡物産市（R4.9 来場約7,500人）  
山梨物産市（R4.10 来場約8,700人）
- ・農産品直売（R4.6～12 浜松市ギャラリーモール「ソラモ」等）



### ✓ 新たな商流・物流ルート構築

- ・山梨県、長野県、新潟県に拠点をもつ流通事業者と連携

### ✓ 清水港の輸出拠点化

- ・中部横断自動車道を活用し、山の洲の産品を合わせて、清水港から輸出する仕組みを構築

< R 4 取組内容 >

輸出先	輸出品目
香港、シンガポール	みかん、いちご、ぶどう 等
台湾	みかん、メロン、ぶどう 等
タイ	さつまいも、ぶどう 等

## ○リーディング産業への重点投資

### ✓ 自動車産業の電動化・デジタル化

- ・次世代自動車センター浜松との連携強化  
企業の固有技術探索活動、EV分解活動、試作品開発などを重点的に支援（R4：試作品開発 6件）
- ・大手サプライヤと中小企業等をメンバーとしたワーキンググループを開催

カーボンニュートラルWG	各 3 回開催：① R4.8.4、 ② R4.9.29、③ R4.11月
サイバーセキュリティWG	

### ✓ ふじのくにCNFプロジェクト

- ・県と富士市の連携により、富士工業技術支援センターに、富士市の拠点となる「富士市CNF連携拠点」を開設（R4.6.10）
- ・東京大学の磯貝明特別教授を「CNF特任アドバイザー」として委嘱

# 脱炭素型産業構造への転換

## ○中小企業の脱炭素化への支援

### ✓ 企業脱炭素化支援センターによる支援

- ・R4.7.25から本格稼働開始  
事務局：（公財）静岡県産業振興財団
- ・企業脱炭素化推進セミナーの開催（R4.7.29：252人参加）



企業脱炭素化推進セミナー

区分	内容
普及啓発・人材育成	中小企業向け普及啓発セミナー ・R4.9.14、22に開催（延べ31人参加） ・R4.11月以降 6 回開催予定 人材育成セミナー（各コース 3 回開催） ・専門家向け：R4.10.3、11、31（18人参加） ・企業向け：R4.10.24、11.2、11（46人参加）
計画づくり・省エネ診断	ワンストップ相談窓口 省エネ支援員等の専門家派遣
設備導入支援	省エネ設備導入促進補助金 ・R4.7.11～募集開始（～R4.12.28） ・補助率1/3、上限200万円 脱炭素支援資金（制度融資） ・融資枠：50億円

## ○脱炭素エネルギーの導入

### ✓ 水素や再エネによる自立分散型エネルギーシステム導入社会の構築

- ・「創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会」に新たに「水素部会」を設立（R4.7月）  
水素エネルギーの導入やモデルとなる先進的な取組を支援

# デジタル人材の確保・育成

## ○トップレベル人材

### ✓ TECH BEAT Shizuoka

- ・ R4.7.20,21 グランシップにて開催  
(来場者数1,937人 商談128件)



TECH BEAT Shizuoka

### ✓ イノベーション拠点の整備・運営

## ○各産業の中核的人材

### ✓ AIを活用する高度な社内人材の育成

- ・ 社内高度AI人材育成講座 (16人参加 R4.9月～R5.2月)

### ✓ 県内大学等と連携したICT関連講座

- ・ 経営者向けDX推進講座の開催(県内企業8社参加 R4.9月～R5.2月)
- ・ 県内大学等との連携講座の開催
  - 静岡大学 (2講座 66人参加 R4.7月～8月)
  - 県立大学 (3講座 90人定員 R4.7月～11月)
  - 沼津高専 (1講座 22人参加 R4.7月～8月)

## ○全てのビジネスパーソン

### ✓ 工科短期大学校における在職者訓練での高度人材育成

- ・ 3D CAD/CAM/CAE、協働ロボット  
導入・活用などの在職者訓練  
(デジタル化等促進訓練 R4:80コース)  
(うち 10コース新設)、定員715人)



3D CAD/CAM/CAE訓練

## ○次世代人材

### ✓ 工科短期大学校における産業人材の育成

- ・ 高度なシステム分析、設計、各種プログラミング、ネットワーク構築  
技術を習得したシステムエンジニアを養成

# オープンイノベーションの推進

## ○イノベーション拠点の整備・運営

6月補正

### ✓ バーチャルサテライトキャンパスを核としたイノベーション拠点の整備・運営

- ・ トップレベルのICT人材の育成、DXに関する相談等の受付
- ・ 大学等講義のオンライン受講が可能
- ・ 県内企業、ベンチャー・スタートアップ等の交流促進

## ○しずおか産業創造プラットフォームの開設

### ✓ 県内の企業、支援機関、商工団体、金融機関の情報プラットフォームをWeb上に開設

- ・ 国、県等の企業向け支援情報をデータベース化
- ・ 会員制のコミュニティコーナーでは、  
自社の困りごとや協業の相談等、  
テーマ別に交流が可能  
(会員数 R4.3月末 201者  
⇒ R4.9月末 623者)



しずおか産業創造プラットフォーム

## ○大学発ベンチャー支援

### ✓ 地域企業と研究者との共同創業等の促進

- ・ コーディネーターを2名配置し、大学のシーズと  
企業のニーズを結ぶラウンドテーブルを開催  
R4:3回 9.12東海大学 (15人参加)、  
10.17静岡大学 (15人参加)、  
11.10沼津高専



ラウンドテーブルの様子

- ・ 県内企業のほか、支援団体や研究機関などが参加

# 中小企業支援

## ○事業継続への支援

### ✓事業承継の促進

- ・ 9月を事業承継推進月間と銘打ち、集中的な普及啓発を実施  
啓発フォーラム（R4.9.22 367人参加）  
実現先訪問ツアー  
東部9.16(15人)、中部 9.27(17人)、西部 10.14(16人)
- ・ 事業承継計画策定支援（R3 703件、R4.9月末 250件）
- ・ 県制度融資による事業承継実行時の資金繰り支援  
（R3 80件 約39億円、R4.8月末 29件 約11億円）

## ○事業の付加価値向上

### ✓新たなビジネスモデルへの挑戦やデジタル化等の取組を支援

- ・ 中小企業デジタル化・業態転換等補助金  
（R2～R4：1,185件、19億円採択）  
補助率：2/3、上限：200万円（特別枠は300万円）  
原油価格・物価高騰対応枠の新設 **6月補正**  
（R4：125件、2.7億円採択）  
補助率：2/3、上限：300万円



しごと体験ツアー

## ○人材の確保・育成

### ✓移住・UIターンの促進

- ・ 移住希望者と本県企業のマッチング会を対面及びオンラインで開催（R4:4回（7月（26社、45人参加）、10～11月、12月、1月））
- ・ 大学1、2年生向けに県内企業の魅力を伝える取組を強化  
しごと体験ツアー ほか（R4:8月（6社、22人参加）、11月、12月）

# 観光分野の取組

## ○観光産業の回復に向けた安全・安心な旅行の提供

### ✓ふじのくに安全・安心認証（宿泊施設）制度の推進

- ・ 認証施設：1,920件（R4.9月末）

### ✓観光促進事業「今こそ しずおか 元気旅」の実施

- 【県民割】R4.5.9から対象を11県に拡大し、R4.10.10まで延長  
利用実績：約85万件（R4.8月末現在）
- 【全国旅行支援】  
R4.10.11から対象を全国に拡大しR4.12.20まで実施



観光促進事業ロゴマーク

## ○観光分野の競争力強化

### ✓サステナブルツーリズムの推進

- ・ DMOによるモデルツアーの実施（ジオパーク、お茶、浜名湖）
- ・ 静岡ならではの資源とSDGs要素を取り入れた旅行商品の造成支援  
テーマ：食、歴史文化、サイクリング、温泉を通じたヘルスケア  
実績：21商品の造成を支援（R4.9月末現在）

### ✓ガストロノミーツーリズムの展開

- ・ ガストロノミーツーリズムコーディネーターによるコンテンツ造成支援
- ・ モデルツアーの実施（浜名湖周辺地域、奥大井地域 他）
- ・ 生産者、料理人、観光事業者、研究者が集う研究会の開催  
R4:3回 9.20グランシップ、12.12ヴァンジ彫刻庭園美術館  
1.17清水港、2月アクトシティ浜松

### ✓観光分野のDXの促進

- ・ 観光アプリを活用した県内周遊促進モデルの実証事業の実施  
（R4.12月～R5.1月）